

～飾らぬ美しきで注目を浴びる花～

スカシユリが咲いています

国営ひたち海浜公園の「砂丘エリア」では、鮮やかなオレンジ色の花が魅力のスカシユリが咲いています。太平洋を望む夏の砂丘で強い日差しと潮風を受けながらも、凜とした佇まいで花を咲かせるスカシユリ。花言葉である「飾らぬ美」「注目を浴びる」のとおり、気品がありながらも一際目を引く美しさを持つ花姿をお楽しみいただけます。また、夏の砂丘エリアではスカシユリのほかにも、絶滅や準絶滅が危惧される希少な動植物を観察できます。



砂丘エリア 撮影/2023年6月29日

◆雨水を溜めない機能的な花形

スカシユリはユリ科ユリ属で、日本を原産とする多年草の球根植物です。中部地方以北の本州において海辺や岩場などに自生し、自生している環境によってハマユリやイワユリなどとも呼ばれます。高さは20～60cmほどで、花は径8～10cmほどの杯状になり、鮮やかなオレンジ色の花を上向きに咲かせます。スカシユリの名前は、花弁の下方が細くなり、隙間ができて透けて見えることに由来し、梅雨時期に雨を隙間から落とすことで、花弁に雨水が溜まらないようにするための機能的な花形をしています。

【スカシユリ】

■開花時期/7月上旬～下旬 ■場 所/砂丘エリア



スカシユリ (2023年6月29日撮影)

◆砂丘環境を守るボランティア

公園ボランティアの「野生植物パートナー」は、希少植物の開花株数調査や圃場での育成、増殖活動など、年間を通して希少な動植物が生息・生育する砂丘環境を守る活動をしています。スカシユリは本公園内において保護活動を実施しなければ、いずれは絶滅してしまう可能性がある植物です。そのため2006年から増殖活動に取り組んでおり、人工授粉や採種、播種や苗の植え付け、防獣ネットによる保護などを実施しています。



スカシユリの播種 (2023年4月14日撮影)

◆砂丘エリアの希少な動植物

約3kmにわたる砂丘エリアの地形は、久慈川から流出した砂が漂砂となり海岸に堆積し、その砂が北東風により押し上げられて形成されています。夏の砂丘エリアでは、茨城県で準絶滅危惧に指定されている植物「カワラサイコ」や「カワラナデシコ」、環境省で絶滅危惧に指定されている昆虫「カワラハンミョウ」など、多様な生き物が観察できます。



カワラサイコ (2023年6月29日撮影)

Information

7/22(土)から8/31(木)まで、「とびっきり!夏フェア!」を開催します。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 田中・渡邊・田野
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>